

五百石内者五百石高
御役料三百俵

御廣敷
御用人

卯六月

〔御書附留〕京都町奉行 大坂町奉行

千五百石ヨリ以下之者ハ、向後千五百石之高御足高被下之、御役料ハ唯今迄之通リ被下候

長崎奉行 駿府御定番 禁裏附 院附 山田奉行 堺奉行 奈良奉行 駿府町奉行

佐渡奉行 浦賀奉行

千石ヨリ以下之者ハ、向後千石之高御足高被下之、御役料ハ唯今迄之通被下之候

右之通候間可被得其意候

元文三年三月

〔吹塵録二十八德川氏〕寛政元酉年分限高

貳拾六万三千百三拾五俵餘八百五拾五人半扶持

拾壹兩

同 御足高

〔大概順〕御目見以下大概順

三拾俵扶持

御鷹匠 同心
御犬牽

但以下は御足高被下置見習は御金も御扶持も被下置候

〔寶曆集成絲綸録二十四〕寛延四未年九月

御勘定奉行 江略

佐々木勘三郎支配

猪御犬牽組頭 直井喜七

木村伴四郎